

令和7年度 新橋地域ケアプラザPDCAシート_公表用（事業計画書、事業報告書、事業実績評価）

—総括表—

◆ 事業計画

☐ 地域の現状と今後の方向性

●担当エリアは昔からの地縁のつながりがあるエリアと住宅地として一斉開発されたエリアが混在しています。どのエリアも地域活動の担い手不足は継続的な課題なので担い手の発掘につながるような事業を実施します。

●一斉開発されたエリアは急激な高齢化がすすんでいます。しかし介護保険申請率は市内でも低く、元気な高齢者が多いエリアと言えます。介護予防事業を積極的に展開し、健康寿命を延ばすような取り組みを実施します。

●昔ながらの地縁のつながりがあるエリアでは若い人が増えて高齢化率がさがってきています。子育て支援事業や新旧住民の活動が活発になるような事業展開をしていきます。

☐ 今年度の重点的な取組

新規	継続	—具体的な取組内容—
☐	☒	・要支援者などが地域のサロンに参加できるように地域活動の後方支援を実施します。具体的にはサロンにて講師派遣やサロンの担い手さんたちの交流会を実施します。
☐	☒	・認知症に関する相談が増えています。認知症に対する理解を深めるための講座を開催し、認知症になっても住み慣れた地域で暮らし続けられるように支援します。
☐	☒	・これまで地域活動していた方に替わる担い手が不足しています。地域活動のサポーター募集やボランティア募集を積極的に実施します。
☐	☒	・一人暮らしや高齢世帯の方が増えています。エンディングノート講座の開催や人生100年時代の備えを情報提供することで老後の不安に対応することに取り組みます。
☐	☒	・障害事業所連絡会やエリア内高齢者福祉施設ネットワーク会議を実施することで 地域と福祉事業所をつなげることに取り組みます

◆ 事業報告・事業実績評価

☐ 振り返り

●サロンの担い手さんたちが継続して活動に取り組めるように、スリーAやコグニサイズの講座を開催しサロンに参加する方が増えています。●認知症講座では30名以上の参加があり認知症の介護をされている方が潜在的にいたことがわかりました。介護している方、認知症ご本人が集まれる場所の必要性を改めて感じました。●新橋地区の竹灯籠まつりではお祭りを手伝ってくれるサポーターが12名集まりました。シニアボランティア講座では想定以上の応募がありボランティアさんが増えています。何かしら活動したいという方がいることがわかりました。●緑園地区ではエンディングノート講座に約60名の参加があり関心の高さが伺えました。継続的な情報発信に努めていきます。●近隣の障害事業所のお困りごとや貸館の登録団体の声をひろって障害事業所連絡会を開催できました。次年度はより発展した活動を計画しています。

☐ 区からのコメント

・泉区アクションプランに基づく高齢者の生活支援の充実に向け、泉サポートプロジェクトの参加団体と連携し、高齢者への移動支援や体力測定会などを開催いただくなど、泉サポートプロジェクトによる多様な主体と連携を図り、充実した地域支援を行っていただきました。また、買い物困難者に対する課題解決へ向け、主体となる新橋地区社協と連携し、丁寧に後方支援もしていただいたことで、移動販売を4か所で開始することができました。引き続き、泉区アクションプランの推進にむけ各種取組の推進を期待しています。

・広報発信や出前講座、地域の会議・サロン・イベントへの継続的な参加を通じて、相談しやすい関係づくりと潜在的な課題把握を着実に進めていただきました。新たな地域活動の担い手の発掘に加え、認知症理解の促進、権利擁護の講座、新橋エリアでの集いの工夫、ケアマネジャー支援など、多様な取り組みを地域の状況に応じて展開できています。今後も地域住民が必要な支援につながるよう、相談環境と介護予防の場づくりを引き続き推進されることを期待します。

・竹灯籠祭りのサポーター募集やシニアボランティア講座の開催等、担い手発掘に取り組んでいます。活動したい方と、担い手不足に困っている地域をつなげるような取組を次年度以降も期待しています。

・こども分野の事業を、丁寧に地域へ周知啓発しています。こどもが小中高校と育つ中で、地域の受皿を展開しており、成果が目に見えにくい事業ですが、こどもたちの居場所としてのケアプラザや自主事業を今後も大切にしてください。